

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2000-506714(P2000-506714A)

【公表日】平成12年5月30日(2000.5.30)

【出願番号】特願平10-528572

【国際特許分類第7版】

H 04 N 5/445

G 06 F 3/00

【F I】

H 04 N 5/445

G 06 F 3/00 6 5 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月8日(2004.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年11月 8日

特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示

平成10年 特許願 第528572号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ
ヴィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号
霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番(代表)
氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作

- 4 補正対象書類名 請求の範囲
- 5 補正対象項目名 請求の範囲
- 6 補正の内容 別紙の通り



分 類



請求の範囲を下記の通り補正する。

「 請 求 の 範 囲

1. 少なくとも一つのディスプレイと、

複数のメニューオプションを有する、回転するメニューが、前記ディスプレイによって表示するよう配置され、いずれの時間においても少なくとも一つのオプションが回転して、前記ディスプレイから外れるように、前記メニューを前記ディスプレイの中心から外れて配置し、フォーマットを変更することなく任意の数のオプションを前記メニューに追加できるようにしたコントローラとを具えることを特徴とする電子装置。

2. 前記メニューが、スクリーンに平行でない見かけの面にメニューが出現するように遠近法で表示されることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電子装置。

3. 強調されるメニューオプションが、ユーザに最も近接するように出現する見かけの面の一部に出現することを特徴とする請求の範囲第2項に記載の電子装置。

4. 前記メニューが選択位置を具え、前記メニューオプションのうちの一つが、前記オプションが選択位置に対して回転するときに選択可能であることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電子装置。

5. 前記メニューが、選択可能な装置に対する地位の表示が表示される領域を具えることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電子装置。

6. 一 前記装置をテレビジョンとし、

一 前記メニューオプションが、前記テレビジョンに接続したVCRの制御を有し、

一 前記領域が、VCRで再生されるテープを表示することを特徴とする請求の範囲第5項に記載の電子装置。

7. 一 前記装置をテレビジョンとし、

一 前記メニューオプションが、前記テレビジョンに接続したVCRの制御を有し、

一 前記領域が、VCRに録画される放送を表示することを特徴とする請求の

範囲第5項に記載の電子装置。

8. 前記装置をテレビジョンとし、前記メニューオプションが、前記テレビジョンの制御及び前記テレビジョンに接続した装置に関連することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電子装置。

9. リモートが、前記メニューを所定の方向に回転するボタンを有することを特徴とする請求の範囲第2項に記載の電子装置。

10. 前記リモートが、

前記メニューを第1方向及び第2方向にそれぞれ回転するカーブした形状の第1及び第2ボタンと、

現在強調されているメニューオプションを選択し、前記第1及び第2ボタンによって規定されたカーブの内側に配置された第3ボタンとを具えることを特徴とする請求の範囲第9項に記載の電子装置。

11. 前記スクリーン上に出現する代理人に応答する少なくとも一つのボタンを具えることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電子装置。

12. 前記ディスプレイが、ユーザに対してオプションを提案する代理人も表示することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電子装置。

13. 遠近法が、前記メニューオプションの少なくとも一つの形状又はサイズの変更によって達成されることを特徴とする特許請求の範囲第2項に記載の電子装置。」